

10-1 1931年から1942年の台湾付近の地震の震源決定

Determination of hypocenters of earthquakes in and around Taiwan from 1931 to 1942

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction and Information Division

Japan Meteorological Agency

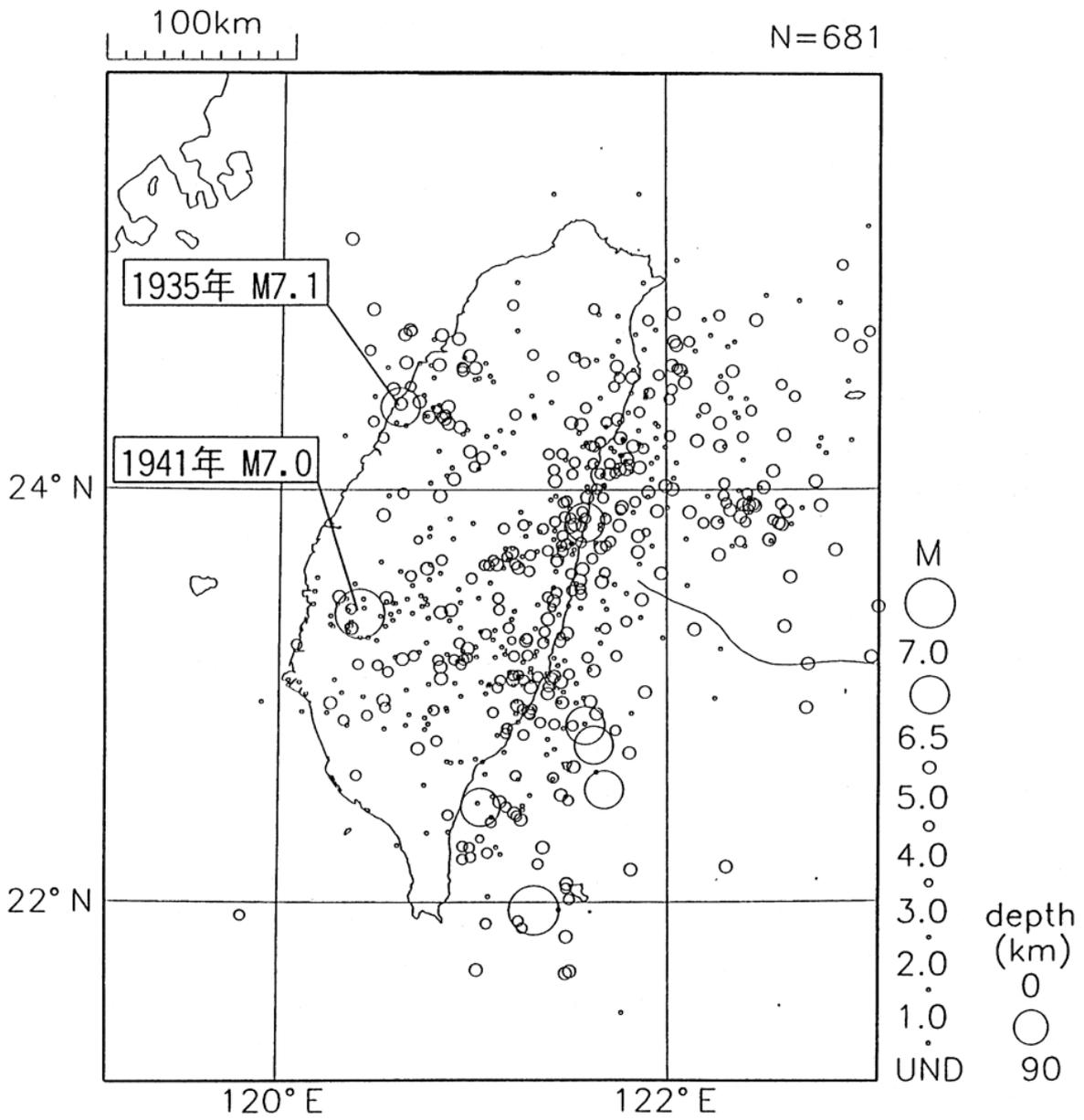
1999年9月21日に台湾中部でMs7.7 (USGS) の地震が発生した。この地震をきっかけに、気象庁に残されているデータを用いて、1931年から1942年までの台湾付近の地震の震源を決定したので報告する。ただし、計算結果は暫定的なもので、すべての地震について精査したものでないことを付記しておく。

この期間には、多い時には、台湾において12個所の気象台および測候所が存在し、日本国内と同様な地震観測が行われていた。今回の結果は、当時の地震調査原簿に基づいて、震源を計算したものである(第1図)。今回決定された震央分布は、東海岸や今回の地震の周辺で地震の活動度が高いことなど、現在の地震活動の特徴¹⁾とほぼ同じ様子が分かる。

1935年の新竹・台中の地震(苗栗地震)では3276人、1941年の嘉義地震では357人の死者が出ている。

参 考 文 献

- 1) Teng, T. L., Y. M. Wu, T.C. Shin, Y.B. Tsai and W. H. K. Lee : One minute after: strong motion map, effective epicenter, and effective magnitude, BSSA, 87 (1997) ,1209-1219



第1図 台湾付近の震央分布 (1931年~1942年)
 Fig.1 Epicentral distribution in and around Taiwan(1931-1942)